

1992年4月17日第三種郵便物認可(毎月3回7の日発行)

2011年12月19日発行 SSKR6438 増刊通巻

SSKR

# CIL東大和通信

第

23

編集 NPO法人 自立生活センター・東大和

〒207-0014 東京都東大和市南街1-22-6 シティコート南街1F

TEL : 042-567-2622 FAX : 042-567-2912

EMAIL : cil-ymt@violin.ocn.ne.jp

発行所 東京都世田谷区砧6-26-21

障害者団体定期刊行物協会 定価100円

号

10周年記念式典  
ご参加ありがとうございました☆



みなさんも「自分色の生活を！！」  
う～ん、kk(編集担当)の色は…?  
ドメ色!!!!(笑)

1. 呼ネット café [7月23日(土)]	p 2.3
2. 総合福祉センター [8月22日(月)・10月27日(木)]	p 4.5
3. 自立支援協議会 [8月30日(火)・10月28日(金)]	p 6
4. みんなの作品展 [10月7日(金)・8日(土)]	p 7
5. 福祉祭 [11月13日(日)]	p 8
6. CIL東大和10周年 [11月23日(水)祝日]	p 9, 10, 11
7. 忘年会 [12月10日(土)]	p 12
8. 活動内容 [7~12月間]	p 13
お知らせ 講演会: 障害者総合福祉法って何? ~新制度確立に向けて~	p 14

# 1.呼ネット Cafe

Let's in!!

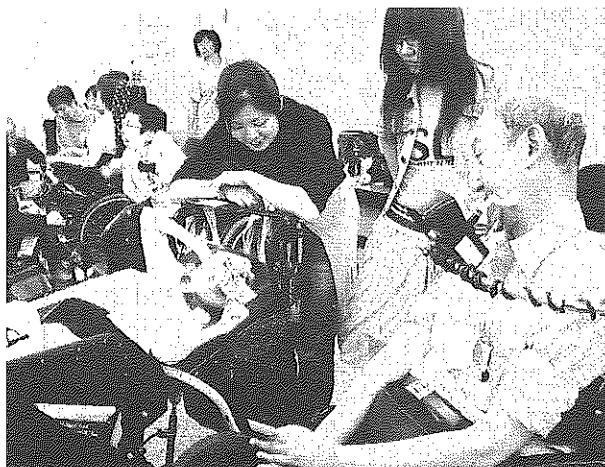
7月23日(土)新宿文化センターにて14時から17時まで呼ネットCafeを行いました。今年は例年より宣伝に力を入れたので、参加者総勢12名、介助者やご家族を合わせると29名の人達に参加してもらいました。



まずは、参加者一人ひとりから自己紹介してもらいました。予想を超える参加者数だったので、自己紹介で会が終わってしまうんじゃないかという嬉しい予想をしてしまいましたが、皆さん話したいこともあるので、さくさくと自己紹介が進みました。



その後、15時過ぎまで交流タイム。実際に会うのは初めてという方もいましたが、話し始めるとすぐに打ち解けて会場のいたるところで、話が大盛り上がりでした。そんな交流タイムの間にも、続々と参加者が増えていきました。



1992年4月17日第三種郵便物認可（毎月3回7の日発行）

2011年12月19日発行 SSKR6438 増刊通巻

15時過ぎからは、さいとう工房の斎藤さんによる緊急時の電源確保についてのミニ学習会。学習会の冒頭では、交流・直流の仕組みの違いや、車いすのバッテリーから吸引機や人工呼吸器の電源を得る方法、バッテリーの容量でどの程度の時間医療機器が使えるのかと言った話がありました。

質疑応答の場面では、バッテリーや電気の仕組みについての質問もあったのですが、やはり最大の関心事といえば3月11日に起きた東日本大震災。話はその際に行われた計画停電に及びました。人工呼吸器ユーザーにとっては、まさに命がけということもあります。東京電力の対応について意見交換が出来ました。



質疑応答後、呼ネットが厚生労働省に人工呼吸器外部バッテリーの要望を行っていることと、東京都で行っていた「在宅療養患者緊急時対応支援事業」の問題点を訴えていることをお伝えし、ミニ学習会は終了しました。予定の17時になっても、話は尽きずロビーに残って話を続けている参加者の方もいました。

呼ネット Café も第3回目を数えました。普段 ML を使って交流はしていますが、実際に会って話をしてみるとキャラクターはもちろんのこと、その人が使っている医療機器や様々な工夫が見えるので、より質の高い情報交換の場になります。これからも続くであろう呼ネット Café。来年も再来年も参加人数二桁を目指していきたいと思います。今後も地域の人工呼吸器ユーザーを増やしていきたいですね。



呼ネット Café 後、第二部呼ネット Bar にて 集合写真

## 2. (仮称) 東大和市総合福祉センターは今

福祉、保険、医療の目的で公設建造物を作るという条件で、7割引で東京都から購入した、東大和市桜ヶ丘の土地。何度も事業計画を立ててきましたが、財政状況などの影響で、しばし凍結されていました。

しかし、新しい市長に交代し、総合福祉センター建設に対する姿勢が明確化されたことで、今年8月から基本計画策定検討委員会が再開し、にわかに動き始めました。

しかし！

もともとは、建設に対して財政が厳しいという理由で凍結した総合福祉センター。市長が交代したからといって、お金が増えるわけはありません。建設困難な状況は変わりません。

はあーどうしたもんか…。

そこで勇気ある東大和市は、ある決断を下しました。  
「福祉、保険、医療の目的で公設建造物を作る」という条件で購入したにもかかわらず、「民設民営でやってもいいですか…？」と、東京都にお伺いを立てる協議書を提出したのです！  
(斬新！)

それと同時に、事業案見直しについても、民間の法人が受けてくれるための条件を第一に整備しなおすことに。

- ・ まず、単独先行した高齢者の包括支援事業や介護予防事業は削除。
- ・ 出張系の子育て事業や健康相談なども、必要時には適宜集会室を利用するということで実施事業からは削除。
- ・ そして、みのり福祉園から生活介護だけを抜き出して就労継続支援B型だけが残ると、収益性の問題からそちらの民営化の際に受けてくれる民間法人がない、ということで、就労継続も総合福祉センターに入る。
- ・ また、もし民設が可能になった場合、建築法規遵守もすべてその法人に任せることで、何階建てになるのか、どういう造りにするのかなども、すべて未定になるとのこと。

あとは、東京都が民設民営を認めてくれるか、そして、受けてくれる民間法人が見つかるか、の問題となっていきそうです。民営に際しても、東大和市のニーズや条件提示をした上で、この地域で必要な事業をしっかりやってくれそうな法人にお願いをしていく方向です。

こういう理念でやってほしい、こんな事業をやってほしい、この事業に関してはこういう配慮をしてほしいなど、検討委員会の中で市民の声を伝えていきたいと思います。

基本計画は、今年度中に策定されます！

現在の事業案はこんな感じ

事業名	事業内容
①障害者相談支援事業 (地域活動支援センター)	障害者の日常生活や福祉サービス利用の選択など、幅広い相談・支援を行います。
②就労生活支援センター	障害者の就労・生活両面にわたる支援を一体的に行うことで、地域で働くことを支援します。
③就労継続支援B型	一般企業への就労が困難な障害者に就労の機会を提供するとともに、知識や能力の向上に必要な訓練を行います。
④生活介護	常時介護を必要とする障害者のための日中活動の場です。施設内調理による給食を提供するとともに、医療的ケアについてはケースごとに対応を検討します。
⑤地域活動支援センター (講座等の実施)	障害者の創作的活動や生産活動の機会、社会との交流促進や日常生活に必要なサービスを提供します。
⑥短期入所(ショートステイ)	障害者を自宅で介護できない場合、入浴、排泄、食事の介護等宿泊を伴うサービスを提供します。
⑦日中一時支援事業	主に日中活動終了後の障害者の一時支援の場として、サービスを提供します。
⑧喫茶・売店	障害者のことを広く知らせる場として、生産品の展示・販売を行います。就労の場としての活用も検討します。
⑨多目的集会室	障害者団体はもとより、地域の方も利用できる集会施設とします。視聴覚室や和室も設置します。また、各種出張相談(予育て・健康)や介護予防教室なども実施できるように整備します。
⑩情報交換コーナー	市内の福祉に関する情報が集まる場として、福祉需要と供給を結ぶ場としての活用を図ります。

# 3. 東大和市地域自立支援協議会の最近

前回の通信では、「相談窓口ができそう!」「部会ができそう!」という話をしましたが…

できました～!!

部会：

就労部会：障害者の一般就労率の促進と定着、福祉的就労の質の向上や工賃アップなどを目指す

生活部会：就労以外の生活全般を支える福祉サービスや地域での資源の拡充、ネットワーク作り  
などを目指す

それぞれ、隔月・交代交代で開催。

自立支援協議会の委員15名を2つの部会に振り分け、そこに、地域の事業所や近隣地域の団体  
などに入っていただき、どちらの部会も15名前後の委員で構成しています。

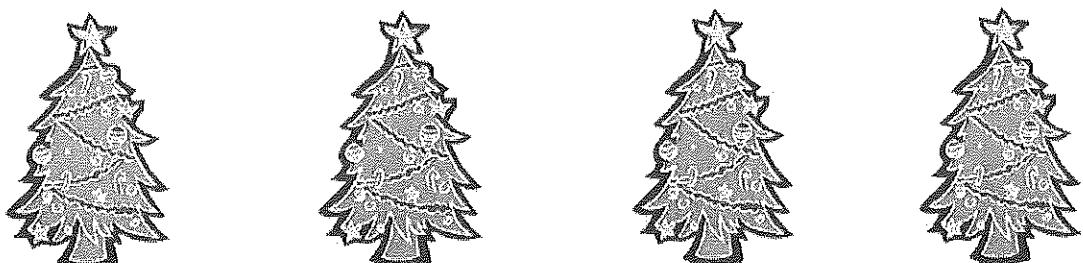
まだ設置したばかりなので、委員同士の理解を深めること、そして、東大和市という地域の中に  
どういう課題があるのか、というケース持ち寄りが中心になっています。

相談窓口：

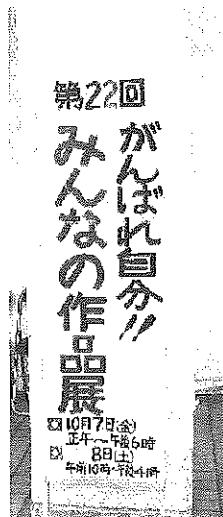
障害者自立支援法で、各自治体におくよう定められている「相談支援事業所」ですが、東大和市  
には精神障害者の相談支援事業所しかなく、身体と知的がないのです！そこで、自立支援協議会  
の委員の内5人で、身体、知的の相談窓口を設置。11月中旬から、社会福祉協議会の1コーナー  
をお借りして開設中ですよ！社協さんは自立支援協議会の副会長として一緒に運営を考え  
ていただいていますが、今回は相談コーナーに電話も引いてくださって、事務所内のコピー機でも  
資料でも自由に使ってください、と協力してもらっております、大変ありがとうございます。

でも、相談員5人、完全ボランティアでやっています。早いところ、ちゃんと予算化された事業  
として確立してほしいです…。

自立支援協議会、専門部会の活動は、先進地域でも軌道に乗るには3年くらいはかかると言われています。  
実質2年目の東大和市地域自立支援協議会。今後が楽しみですね☆



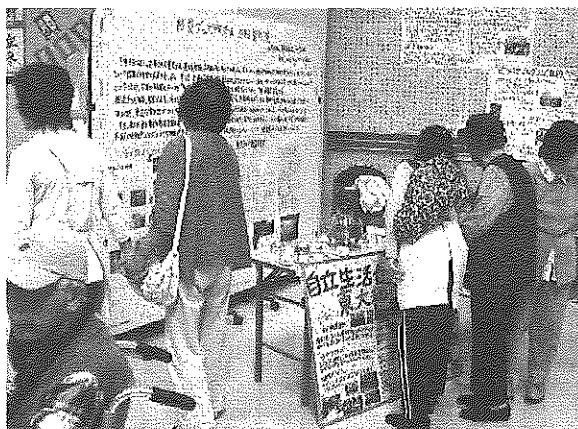
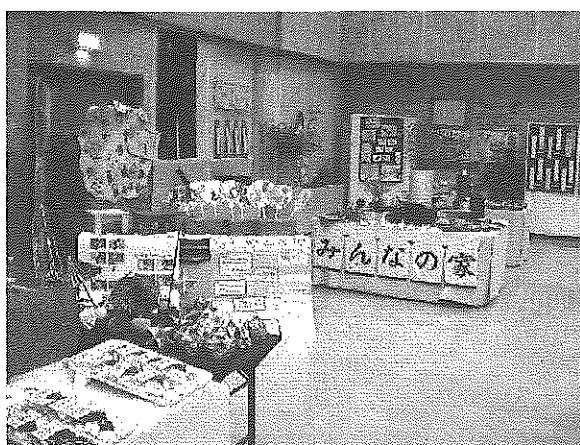
# 4. みんなの作品展



2011年10月7日(金)、8日(土)に東大和市中央公民館ホールで「みんなの作品展」が行われ CIL 東大和も昨年に引き続き出展しました。

昨年は縦横180cmの大きさの「見て触って感じる東大和市内の立体地図」をパッチワークのように布を使って表現しました。さて、今年は何にしましょうかと事務局会議で何回も話し合い、意見を出し合いました。出てくる意見はやはり東日本大震災に関するものが多く、最終的に「防災対策グッズ」となりました。アルミ缶とティッシュと食用油を使って作る即席コンロと避難所でも履いて歩ける厚くて丈夫なアフガン編みの防災靴下です。利用者の方と一緒に事務所でコンロ作りと編み物が始まりました。出来たコンロでお湯を沸かしレトルトカレーを温めヤッター(^o^) 編み上がった靴下を履いてグ～!(^^)! 併せて2中の備蓄倉庫の見学をした時のレポートも展示しました。

3月11日の地震は今までにない危機を皆が感じたと思います。刻一刻と入ってくる映像に目を見張り、恐怖を感じ、もしこれが自分の身の上に起きたことならと慌てて避難グッズを揃えた人も多かったと思います。「備えあれば患いなし」ですが「喉元すぎれば熱さ忘れる」も人間の常です。障害者が地域で生活することの大切さと災害が起きた時の大変さを事務所としてどうしていくかを今後防災・減災を含め常に考えていきたいと思います。



## 5. 福祉祭

2011年11月13日、福祉祭が行われました。今年は好天気・・・と言うより、動くと汗ばむ程のお祭り日和になりました。



10時開店に向けて、売り子班とフランク（注1）下ゆで部隊に分かれます。毎年恒例のフランク、班ごとの段取りチームワークの良さは見事です。

今年は、昨年12時半前にはフランクフルト250本完売していまい、売るものが無くなりテンションダウン（；—）の反省を生かし、300本準備し販売開始です。

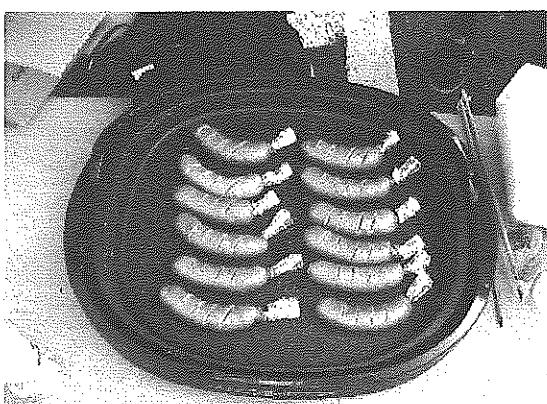
フランクのほかに利用者さんから頂いた小物入れに石鹼や入浴剤を入れたもの、高級化粧品の寄付も頂き一緒に販売しました。

10時開店を待たずに来場者が次々とやってきました。さすがに、10時前に食べ物を買いに来る人はいませんが、フリーマーケットを出している団体では良いものを安く買おうと品定めをしている人も・・。福祉祭の本来の目的は何？と思う瞬間です。



10時を過ぎると利用者の方も売り子になってくれて、「フランクフルトイいかがですか～？ ジューシー～ですぅ」と場を盛り上げてくれました。

お陰様で、CILのフランクはリピーターが増え、一人で何本も購入してくれたり、美味しかったから～とまた買いに来てくださったりで、やっぱり、今年も12時半には完売となりました。昨年の反省を活かすことは出来ませんでしたが（笑）、お店屋さんを楽しんだ一日でした。



注1：骨付きフランクフルトの略。旨すぎてアルコールが欲しくなるフランクフルトの事。山梨のお肉屋さんで大人買いします。

## 6. CIL東大和10周年記念式典 『自分色の生活を』

11月23日(水)13時にハミングホールで式典は開始しました。天候に恵まれた事もあり、ご来席頂いた方はなんと100名。当日は市長をはじめ、市議会議長、議員の方のご参列もあり、まさに十周年にふさわしい式典となりました。

受付は打合せと練習の成果もあり、混雑することも無かつたので、滞りなく進んでいきました。

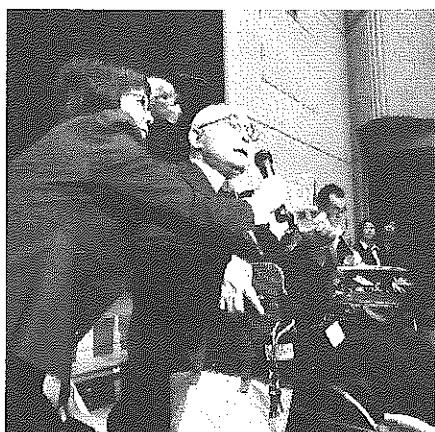
始まりの時間となり、事務局長の田渕より挨拶がありました。CIL東大和の発起人ということもあり、10周年を迎えたことに感慨ひとしおの様子でした。



そして、尾崎保夫市長にご挨拶を頂きました。これから市行政のあり方は、市からサービスを単に提供するだけにとどまらず、市民が自らのニーズとそれに伴った義務・役割に気付き、時には市に提案等行いながら、官民共同で行っていくべきという障害福祉ネットワークの会報に載っていた言葉に共感し、そのような団体が市内にあることを心強く思う、という言葉を頂きました。我々としても、CIL東大和が行っている市内のネットワークや、各審議会や検討委員会等の活動に対して市民活動団体としての意義を再確認する機会にもなったのではないでしょうか。

なお、市長は一緒に参列してくださった福祉部長 吉沢寿子氏と、障害福祉課長 小川則之氏とともに、式典の最後までいて下さいました。

次に理事の菊地敏明さんに、乾杯の音頭をお願いし、その後、しばしの歓談のお時間となりました。

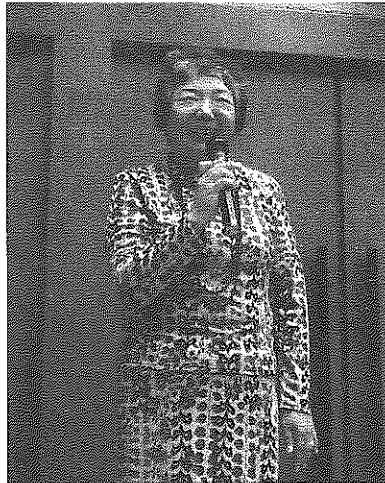
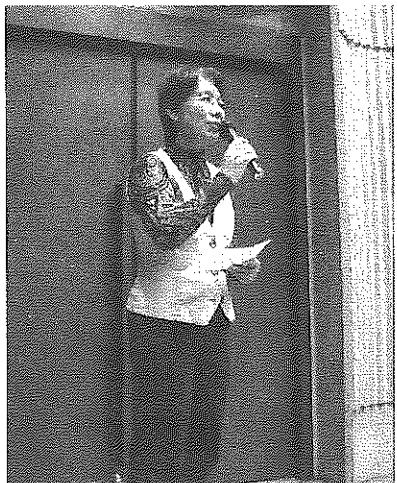


その間に式典開催にあたり、ご協力いただいた方の紹介をしました。当日の食事、看板、お持ち帰り用のクッキー等の準備にあたり、多くの市内団体の方々に携わっていただきました。また、舞台正面にあった横断幕や、ご寄付、お花を頂いたりと、たくさんのお祝いを頂きました。

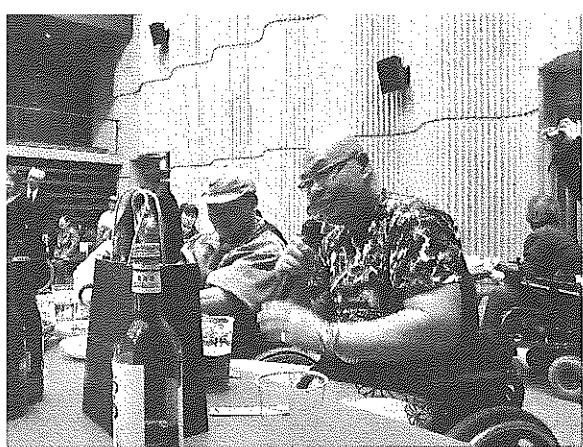
皆様、大変ありがとうございました。

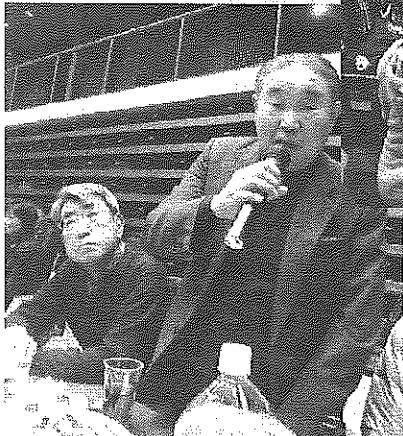
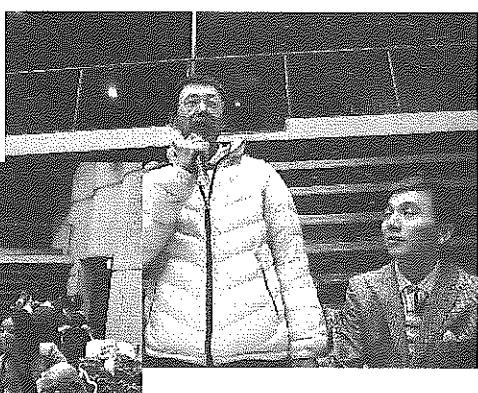
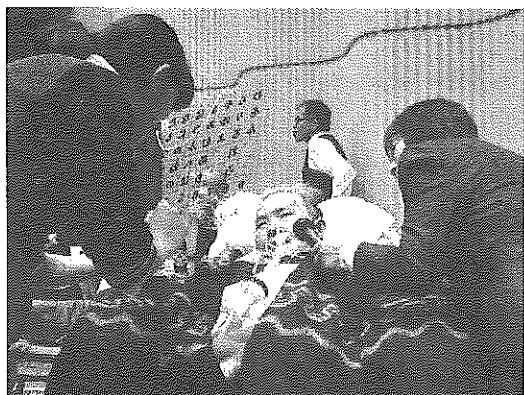
歓談の時間が少し落ち着くと、ご来賓の方より一言ずつご挨拶を頂きました。

順不同となることをお断りしますが、お名前を挙げさせていただきます。東大和市議会議長 尾崎信夫さん、東大和市社会福祉協議会 事務局長 関田實さん、東大和障害福祉ネットワーク副代表『東大和市手をつなぐ親の会代表』平松美佐子さん、NPO福祉東大和連絡会 2011年度代表『たすけあいワーカーズあくしゅ』の花山由美子さん、CIL 東大和設立時の理事長 野上温子さん、TIL ベンチレーターネットワーク 呼ネット代表の小田政利さん、全国自立生活センター協議会 常任委員 鈴木一成さん、以上7名の方にお言葉を頂戴いたしました。また、第一、第二あたりえトントンさんより祝電を頂戴いたしました。大変ありがとうございました。



また、多くのCILの利用者の方や、アテンダントの方からも一言いただきました。





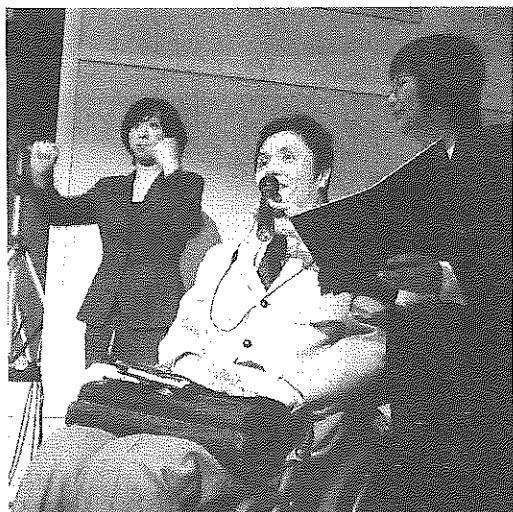
そして、CIL 東大和の理事と、スタッフの紹介もおこないました。

順当に皆様からのご挨拶、理事・職員の紹介も済んだところで、CIL 東大和の 10 年間の歩みをご報告するスライドショーを上映しました。映像の冒頭は、現在のシティコート南街ではなく、ドエル東大和にあった頃の事務所の映像から始まりました。映像の中では、イベントや介助・移送についての取り組みが、多く紹介されています。また、大行動や TRY といった啓発活動や、障害者運動の経緯等についても触れられています。

一方、人の移り変わりも鮮明に映し出していました。現在も関わりを持っている方や、当時 CIL に携わっていた方等、実に多くの、また多彩な人達によって活動が継続されていることが如実に表れています。活動においては、胸を打つような感動もあれば、時には困難に直面し、挫折や葛藤も経験します。しかしながら、会員、職員、理事が一丸となって、当たり前の地域生活を目指すという、目標を見失わないように活動してきたからこそ、現在があるのだと思います。

スライドショーが終わると、最後のプログラムになりました。プログラムの最後は、トランスポーターズというジャズアンサンブルのグループの皆さんに演奏をお願いしました。

今回の演奏は、当センターの会員さんでかつ東大和市にお住まいの細矢裕之さんにプロデュースして頂きました。なお、細矢さんはホソヤアーティストネットワークという会社を経営され、音楽やイベントの企画をされています。ジャズのスタンダードナンバーを計5曲、演奏して頂きました。サックスの低音、高音の響きにしばし参列者のみなさんは酔いしれ、スライドショーの余韻も手伝って、とても心地よい演奏でした。



最後の演奏が終わると、現理事長 海老原宏美の閉会の言葉で締めくくりです。



CIL 東大和が10周年を向かえられたことの慶びと、様々な形でネットワークを築き上げてこられたことへの感謝を述べ、今後も、それぞれの人々の「当事者性」を大切にし、お互いを理解し、認め合うことで平等・対等な社会を作っていくたいと発言しました。

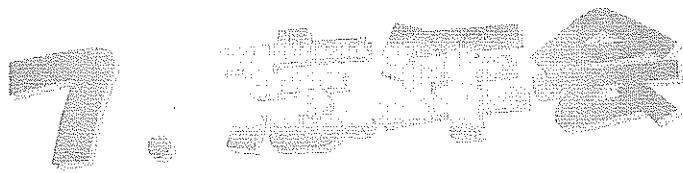
色々な社会資源を活用し、サポートを受けて生活していくことは、権利として当たり前のことではありますが、そうして地域に住む以上、社会の中でどのような役割が果たしていくのかを、障害者自身も考えていく必要がありますね。

そして、10周年記念式典は終了となりました。

多くの方の尽力により、10周年を迎えることが出来ました。人の生活は24時間365日絶え間なく続いている。それと同じように生活のサポートも途切れることはありません。

よって、あくまでも10年は続いている生活の一点、言い換えるならば節目であり、自分達の活動のメンテナンスが出来るタイミングでもあると、考えています。

やってきた活動の良いところは踏襲しつつ、改善できることは変えて、これから多くの人が、地域で当たり前の生活を送るように、そんな社会に変えていくように、今後の活動も精力的に続けていきたいと思います。



12月10日(土)、毎年恒例の忘年会を行いました。今年の会場は事務所。延べ28名の方が参加してくれました!お食事は、10周年記念式典でもお世話になった、市内の作業所「ぱる」さんにサンドイッチやからあげなどのお惣菜を、また、同じく市内にある中華料理店「香香(シャンシャン)」さんから出前を取り、スタッフ手作りの料理も並べ、多国籍感溢れるテーブルになりました。参加者の方たちからも様々な差し入れを頂きました♪♪ありがとうございます。

今年の忘年会はゲームなどは行わず、例年に比べたら小ぢんまりと、でもその分参加してくれた方たちとの会話を重視したアットホームな会になったのでは??と思うのですが、どうだったでしょう。今度みなさんにお感想を聞いてみたいと思います。



今年は、忘れないことや忘れてはいけないことがみんなそれぞれたくさんあった一年だったと思います。それだけに、大勢で集まって食事することが、いつも以上に貴重に感じられた忘年会でした。



忘年会に限らず、まだイベントに参加したことのない方も、来年はぜひお気軽にご参加ください(^-^)/

## 8. 活動内容

### 7月

- 7/1 自立支援協議会セミナー参加（都庁）  
7/4 TIL 総会（イ・サンホ氏来日講演）  
7/5 移送特別幹事会 自立支援協議会事務局打合せ  
7/6 地域福祉審議会全体会  
7/7 重訪研修講師（幹福祉会本部） 移送特別幹事会  
7/8 呼ネット事務局会議  
7/11 事務局会議 10周年予算会議  
7/12 ネットワーク役員会  
7/14 「みんなの作品展」準備  
7/19 JIL 総会（～7/20） 医療福祉研修参加  
「みんなの作品展」準備  
7/21 多摩療護園オンブズパーソン  
7/23 呼ネットcafé開催（新宿）  
7/25 事務局会議 医療ケア検討会（吸引勉強会）傍聴  
7/27 福祉祭企画委員会
- 10/7 「みんなの作品展」（～10/8）  
重訪研修講師（幹福祉会本部）  
10/14 ネットワーク役員会  
10/17 事務局会議 JICA研修見学（～10/20）  
10/18 「みんなの作品展」反省会  
10/20 地域福祉審議会 障害部会  
10/21 呼ネット事務局会議 白石清春氏講演会参加  
10/22 10周年記念式典打合 10/24 事務局会議  
10/27 総合福祉センター検討委員会  
10/28 大フォーラム参加 自立支援協議会（生活部会）  
10/31 事務局会議

### 8月

- 8/1 事務局会議 8/2 発達障害学習会参加  
8/4 TIL役員会 8/8 事務局会議  
8/9 ネットワーク役員会  
8/10 自立支援協議会（相談窓口についての話し合い）  
8/22 事務局会議 総合福祉センター検討委員会  
8/25 「みんなの作品展」作品制作  
8/26 呼ネット事務局会議  
8/29 事務局会議 8/30 自立支援協議会
- 11/7 事務局会議 自立支援協議会（相談窓口開設打合）  
11/10 TIL役員会（八王子ヒューマン）  
11/11 重訪研修講師（幹福祉会本部） ロビー活動（東大和市）  
11/12 福祉祭会場設営 11/13 第34回福祉祭参加  
11/14 事務局会議  
11/16 多摩療護園オンブズパーソン  
ネットワーク役員会 地域福祉審議会  
11/17 総合福祉センター検討委員会  
11/21 事務局会議  
11/23 設立10周年記念式典（ハミングホール小ホール）  
11/25 呼ネット HH2級同行訪問受け入れ  
11/28 事務局会議

### 9月

- 9/5 事務局会議 9/8 設立10周年記念座談会  
9/9 ネットワーク役員会  
9/12 差別禁止条約勉強会参加（～9/13）  
9/15 総合福祉法参加 9/26 事務局会議  
9/30 呼ネット事務局会議
- 12/2 ふれあいフェスティバル見学  
12/5 事務局会議  
12/8 重訪研修講師（幹福祉会本部）  
12/9 ネットワーク役員会  
12/13 市内団体向け 総合福祉センター説明会  
自立支援協議会 生活部会、ロビー活動（市議会）

### 10月

- 10/5 総合福祉法講師養成講座受講（～10/5）  
10/3 事務局会議 桜華女子高講師  
リハ協（ノーマライゼーション）取材  
10/4 桜華女子高講師
- 12/14 自立支援協議会 全体会  
12/15 呼ネット事務局会議 ロビー活動（市議会）

# 講演会：障害者総合福祉法ってなに？

## ～新制度確立に向けて～

このたび東大和障害福祉ネットワークでは、平成24年3月にも国会に法案提出がされると言われる障害者総合福祉法を学習するための講演会を開催します。

日本が障害者権利条約を批准するために、この障害者総合福祉法をはじめ、今後の障害者施策の検討が平成22年1月12日より内閣府障がい者制度改革推進会議にて行われています。

障害者総合福祉法は、障害者を権利の主体と捉えていること、障害者のニーズ中心でのサービス支給決定プロセスであるといった点で、今までの制度よりも発展的です。また、地方自治体の財政負担の軽減策もあります。この法律が出来れば、障害者の地域生活、地域移行をより推進することが出来るでしょう。

今回は、まさにこの推進会議を牽引している担当室室長の東俊裕氏ご本人をお招きし、東大和市、及び障害福祉団体、そして広く市民の方と共に、この総合福祉法を学びたいと思います。障害福祉に対する関心、問題意識を共有できれば幸いです。

日時：平成24年1月26日（木）

10時00分～11時50分

会場：東大和市民会館ハミングホール

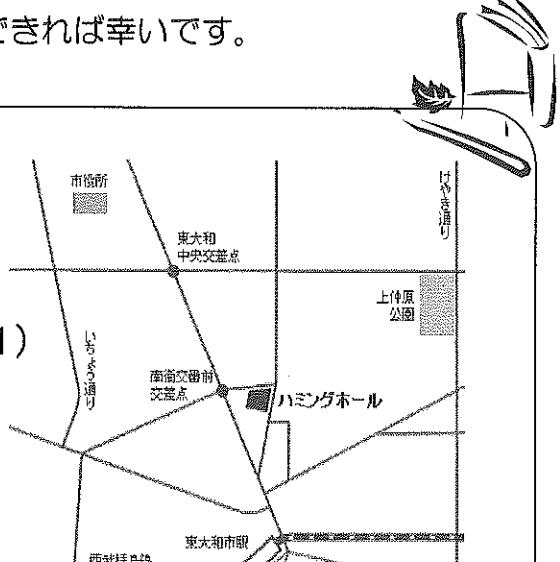
小ホール（東京都東大和市向原6-1）

参加費：無料

講師：内閣府障がい者制度改革推進会議

担当室室長 東 俊裕 氏

※手話通訳・パソコン要約筆記あります！



主催：東大和障害福祉ネットワーク

後援：東大和市、東大和市教育委員会、東大和市社会福祉協議会、全国自立生活センター協議会、東京都自立生活センター協議会、きょうされん東京支部、東大和市共同作業所連絡会、他依頼中

お問い合わせ

東大和障害福祉ネットワーク (NPO 法人 自立生活センター・東大和内)

東大和市南街 1-22-6 シティコート南街 1F

TEL : 042-567-2622 FAX : 042-567-2912

Email : cil-ymt@violin.ocn.ne.jp

### 編集後記

皆さんこんにちはKKです。VIVA!!10周年といった感じで進めてきた2011年ももう少しで暮れています。私が東大和に来たのが2007年でした。半分よりもいのうですが、10年というのは短いようでも、中身はぎっしり濃厚です。式典ではまだ知らないCIL 東大和を知ることが出来ました。

皆様には今年も一年、大変お世話になりました。総合福祉法をはじめ、障害者政策が改革に向けて進んでいたり、一方、東大和市でも市長が代わり、自立支援協議会、総合福祉センター基本計画が具体的に進められています。日々の相談やこれらの課題に対しても、CIL の立ち位置や意義を念頭に置き、来年も職員一同邁進していきたいと思っております。それでは良いお年をお迎え下さい。

### <会費納入のお願い>

NPO 法人 自立生活センター・東大和は皆様の会費が運営資金となっております。

今後も障害を持っていても自分らしい地域生活を送るために必要な様々なサポートを  
提供していくためにご協力をお願い致します。

#### 正会員

→利用会員：3000円／年

→協力会員：1000円／年

賛助会員：1000円／1口

団体会員：10000円／1口



ご寄付のご協力もお願い致しております。

郵便局：00100-9-46826

特定非営利活動法人 自立生活センター・東大和

### <受付時間>

平日 9:00～18:00

\*緊急連絡はいつでもつながります\*



〒207-0014

東京都東大和市南街1-22-6 シティコート南街1F

TEL：042-567-2622

FAX：042-567-2912

